

平成18年 死亡災害発生状況(確定値)

No	署別	発生月	業種	年齢	事故の型	起因物	発生状況
1	金沢	1月	輸送用機械等製造業	50代	その他	その他の起因物	単身赴任で帰宅途中、脳出血により死亡。長時間にわたる過重労働による疲労の蓄積が原因。
2	穴水	2月	小売業	70代	交通事故(道路)	乗用車、バス、バイク	新聞販売店から朝刊を受け取り、三輪自転車で、配達する最初の一軒目に向かう途中、道路を横切ったところ軽乗用車にはねられた。
3	小松	3月	その他の事業	40代	はさまれ、巻き込まれ	掘削用機械	歩道改良工事の交通誘導業務を行っていた被災者が、何らかの原因で転倒し、移動してきたドラグショベルに頭部を轢かれたもの。
4	小松	7月	その他の土木工事業	60代	おぼれ	水	刈払い機により草刈作業を行っていたところ、休憩時間になっても被災者がいないことに他の労働者が気が付き、捜索したところ川底から発見された。
5	金沢	8月	電気通信工事業	50代	墜落、転落	はしご等	電気配線工事において、被災者が、工場壁面にはしごを立て掛けて、地上から約3メートルのはしごの踏棧上で電線の結節作業を行っていたところ、地上に墜落した。
6	穴水	8月	農業	40代	墜落、転落	地山、岩石	下草刈り作業中、被災者と同僚の2名のうち被災者の姿がないことに気付き、作業現場付近を探したところ作業場所から約10メートル下を流れる河川に被災者が倒れているのが発見された。
7	穴水	11月	繊維工業	50代	飛来、落下	エレベータ、リフト	工場内に設置しているエレベータ(床面積が1.8m ² 、天井の高さ2m)で、椅子等を事業場の1階から2階へ搬送作業中、搬器に出入口の戸が設置されておらず、椅子が搬器と建屋の間に挟まれ、搬器が途中で停止した。被災者が1階の出入口から搬器の下に入り、停止した原因を調べていたところ、搬器が落下し、搬器とピットの間に挟まれた。
8	穴水	12月	窯業土石製品製造業	60代	崩壊、倒壊	石、砂、砂利	生コン製造プラントにおいて、被災者が翌日の作業に備えてビンに残っている砂をビン下部の取出口から落としやすいように、棒状の道具でビンの上方にある足場の上から砂を均す作業を行っていたところ墜落し、砂に生埋めとなったと推定される。